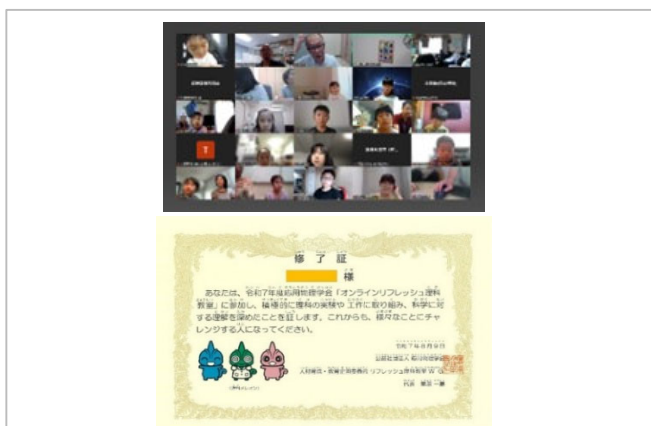


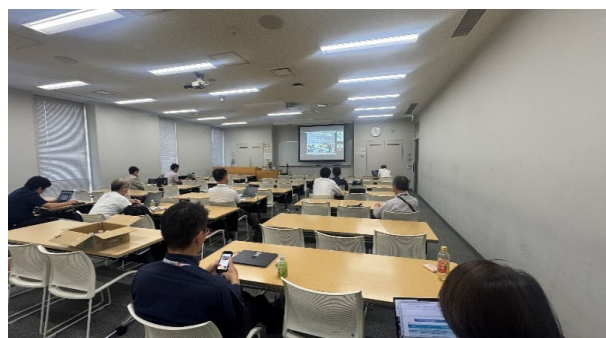
計画(会合)名称 全国実行委員参加型リフレッシュ理科室2025

開催日時	2025/8/9、2025/9/9
開催場所	8/9:オンライン、9/9:名城大学 N411会場
参加者	8/9:64組の家族(うち児童65名)、講師9名 9/9:現地13名、オンライン4名
実施組織	応用物理学会人材育成・教育企画委員会 リフレッシュ理科室WG
開催目的	「リフレッシュ理科室」の取り組みを応用物理学会会員にさらに広く周知し、応用物理学会の科学教育・科学啓発活動への理解を深めていただくために、学会員のご家族(お子さん)を対象とした、「オンラインリフレッシュ理科室」を実施した。また、各支部で実施しているリフレッシュ理科室の内容について、情報共有をし、内容の改善を図るため、秋講演会期間中に「FDリフレッシュ理科室」を開催した。
開催内容	●オンラインリフレッシュ理科室 開催内容 【開催日時】2025年8月9日 13時半～16時半 【対象】応用物理学会会員とそこにご家族(小学校3年生頃～中学生のお子様) 【内容】学会会員が、自身の子と一緒に理科工作を楽しむ 【場所】オンライン(Zoom、ブレイクアウトルームを利用) 【参加費】無料 【定員】6～28組(テーマにより異なる)。事前申し込み。応募者多数により抽選にて参加者を決定した。 ●FDリフレッシュ理科室 開催内容 【開催日時】2025年9月9日 17時～19時半 【対象】リフレッシュ理科室の運営に携わる先生 【内容】各地のリフレッシュ理科室の現状について情報共有をする 【場所】名城大学 N411(秋季学術講演会期間中に開催)
開催結果(成果)	●オンラインリフレッシュ理科室 開催成果 定員48組のところ、68組(会員68組、非会員0組。会員のうち未就学児の家族1組。)の応募があった。北陸・信越支部、中国四国支部、九州支部および応用物理教育分科会の定員を増員することで、64組(児童65名)に参加いただくこととなった。 オンライン形式の講演会に比べ、理科工作実習ではより丁寧な個々の参加者のサポートが必要となる。そのため、オンライン形式での工作中的の事故や怪我を避けるために、本企画の実行委員が参加して7月16日にリハーサル(オンライン)を実施した。 その後、希望した参加者10組と、事務局との間でZoomの接続テストを実施し、当日に挑んだ。 オンラインリフレッシュ理科室当日は、理科工作をすべてオンライン形式で実施し、59組(児童60名)が参加した。欠席の主な理由は当日の体調不良や急な家庭の事情であり、欠席者には後日個別に対応することとした。 参加申込者の学年は未就学児～中学3年生と幅があったが、各実行委員が幅広い年齢に対応できるよう企画し、周到な準備を行ったこと、また、家族で取り組む教室であったことから、未就学児や低学年でも無理なく実験・工作に取り組むことができ、逆に高学年で物足りなさを感じさせることはなく、皆それぞれに集中して楽しむことができていた。 イベント終了後に「参加者アンケート」を実施したところ43組から回答をいただき、98%が、本イベントについて「有意義であった」と回答し、参加者満足度の非常に高いイベントであることが確認できた。参加者の親(応用物理学会会員)からも、「楽しかった」「配慮が行き届いていた」「また参加したい」等の声が多数寄せられた。なお、42%の参加者が、「「リフレッシュ理科室」のことを知らなかった」と回答しており、応用物理学会の会員における「リフレッシュ理科室」の認知度はまだ高いとはいえない。ただし、昨年は59%、2年前は67%、3年前は74%、イベントを開始した当初の4年前は91%の参加者が同様に回答しており、徐々に認知度が上がっていることが伺える。 今回、オンライン形式で開催したことによって、全国各地の学会会員の皆様から参加申込みをいただくことができた(図1)。イベントは好評で、当選者64組中、26組がリピーターであった。今後はまだ参加したことのない会員への周知を図るとともに、当活動に協力いただける会員についても発掘したい。 ●FDリフレッシュ理科室開催成果 2025年第86回応用物理学会秋季学術講演会(名城大学 N411会場)において、第11回FDリフレッシュ理科室(9月9日(火)16:30～19:00、プログラムを添付)を開催した。FDリフレッシュ理科室は2012年(愛媛大学)から秋季学術講演会に併せて開催されてきたが、コロナ感染症の影響を受けて2019年～2022年までの3カ年間休止し、2023年より再開している。今年度は北海道、東北、関東、東海、北陸・信越、関西、中国四国、九州、応用物理教育分科会の全地域・分科会におけるリフレッシュ理科室を取り巻く環境条件や活動状況について報告があった。 今回のFD企画を通じて、改めて各地域における環境条件や実施状況が異なる事を実感した。来年度にリフレッシュ理科室30周年を迎え、今後のリフレッシュ理科室を継続的に展開するためには、各地域の状況を包括的に把握し、地域の問題解決に向けて、情報交換・協力体制強化の必要性が再認識された。

資料1 オンラインリフレッシュ理科教室の様子



資料2 第9回FDリフレッシュ理科教室 プログラムおよび報告会の様子



第86回応用物理学会秋季学術講演会 第11回FDリフレッシュ理科教室 プログラム

- 会場 名城大学 N411
日時 9月9日(火) 16:30~19:00
- 16:30~ 《開会挨拶》 リフレッシュ理科教室 WG 代表 栗原 一嘉(福井大)
 - 16:35~ 北海道支部リフレッシュ理科教室等若年層向けの取り組みについて
【北海道支部】 笹 耕司(旭川高専)
 - 16:50~ 関東地区リフレッシュ理科教室の取り組みについて
【応用物理教育分科会】 曾江 久美(中央大)
 - 17:05~ 東北支部リフレッシュ理科教室の活動報告~東北6県全県での実施について~
【東北支部】 大宮 隆男(山形大)、鈴木 一誓(東北大)、鈴木 伸夫(東北文化学園大)
 - 17:20~ 東海支部のリフレッシュ理科教室の取り組みについて
【東海支部】 羽瀧 仁恵(岐阜高専)
 - 17:35~ 北陸・信越支部長野地区リフレッシュ理科教室の取り組みについて
【北陸・信越支部】 曾根原 誠(信州大学)
 - 17:50~ 関西支部リフレッシュ理科教室の取り組みについて
【関西支部】 竹内 雅耶(兵庫県立大)
 - 18:05~ リフレッシュ理科教室広島会場の活動報告
【中国四国支部】 間島利也(広島国際大学)
 - 18:20~ 九州支部のリフレッシュ理科教室への取り組みについて
【九州支部】 眞砂 卓史(福岡大)、堀江 雄二(鹿児島大)
 - 18:35~ 意見交換
 - 18:55~ 《開会挨拶》 リフレッシュ理科教室 WG 副代表 塚田 真也(島根大)
 - 19:00 閉会